

○2014年度予算の概要

現在、本学は、2012年度に策定した中長期計画「Waseda Vision 150」の実現に向け、各プロジェクトを積極的に実行しています。2014年度の予算編成にあたっては、「Waseda Vision 150」の実行を担保するための財務体質の強化を目指し、帰属収支差額50億円以上（帰属収支差額比率5.5%）を確保し、「Waseda Vision 150」実現に向けた新規事業の予算を確保するとともに、将来に向けて安定的に継続した大学経営のための一定の蓄積も確保することを目標としました。

＜消費収支計算書＞

収入面では、学生生徒等納付金は、授業料の0.7%改定、教育環境整備費改定の学年進行、留学プログラム収入の増加等により、前年度比11億1,500万円増の673億8,100万円を見込みました。補助金は、経常費補助金95億5,400万円、施設・研究設備整備費補助金12億1,900万円等により、前年度比5億500万円増の113億8,800万円となる見込みです。事業収入は、2014年3月にオープンする中野国際学生寮の寮費収入等により、前年度比3億6,900万円増の51億8,400万円を見込みました。また、寄付金は3億4,300万円の増加、資産運用収入は8億3,600万円の増加を見込み、帰属収入合計では前年度予算額を32億4,700万円上回る945億1,000万円となりました。

支出面では、人件費は、基盤教育の充実や国際化対応等のための教員数の増加により、前年度比7億9,100万円増の458億7,400万円を見込みました。教育研究経費・管理経費は、留学プログラム経費の増加や中野国際学生寮の経費支出のほか、消費税増税の影響もあり、前年度比4億7,800万円増の437億2,700万円となる見込みです。消費支出合計では、前年度予算額を10億700万円上回る902億1,600万円となりました。なお、このなかには、「Waseda Vision 150」の実現に向けた新規事業予算として5億4,300円を計上しております。

以上により、帰属収支差額（帰属収入－消費支出）は42億9,400万円となりました。また、基本金組入額はD棟（仮称）建替え更新工事や戸山キャンパス再整備工事等により82億5,800万円を見込んでおり、消費収支差額（帰属収支差額－基本金組入額）は△39億6,300万円となりました。

＜資金収支計算書＞

資金面では、2014年度中に入金が見込まれる資金の総額は1,012億5,600万円、これに対して2014年度の事業活動に必要と見込まれる資金の総額は996億5,100万円となります。これにより、2015年度へ繰り越される支払資金は前年度より16億500万円増加し310億700万円となる見込みです。

結果としては、2014年度予算の帰属収支差額は42億9,400万円となり、目標とした50億円（帰属収支差額比率5.5%）に達しなかったものの、当面の施設整備の維持に必要な帰属収支差額の水準は確保しつつ、前述のとおり「Waseda Vision 150」実現に向けた新規事業予算は確保しています。しかしながら、当初の目的の一つである、将来に向けて安定的に継続した大学経営のための一定の蓄積を確保するまでには至っていません。

また、「Waseda Vision 150」を始めとする本学の改革を更に進めていくためには、一層の財政構造の改革も必要となります。2014年度の予算執行にあたっては、予算の効率的な活用と調達の集中等により経費の削減を行い、一定の蓄積も確保できるような財務体質を目指して努力していきます。

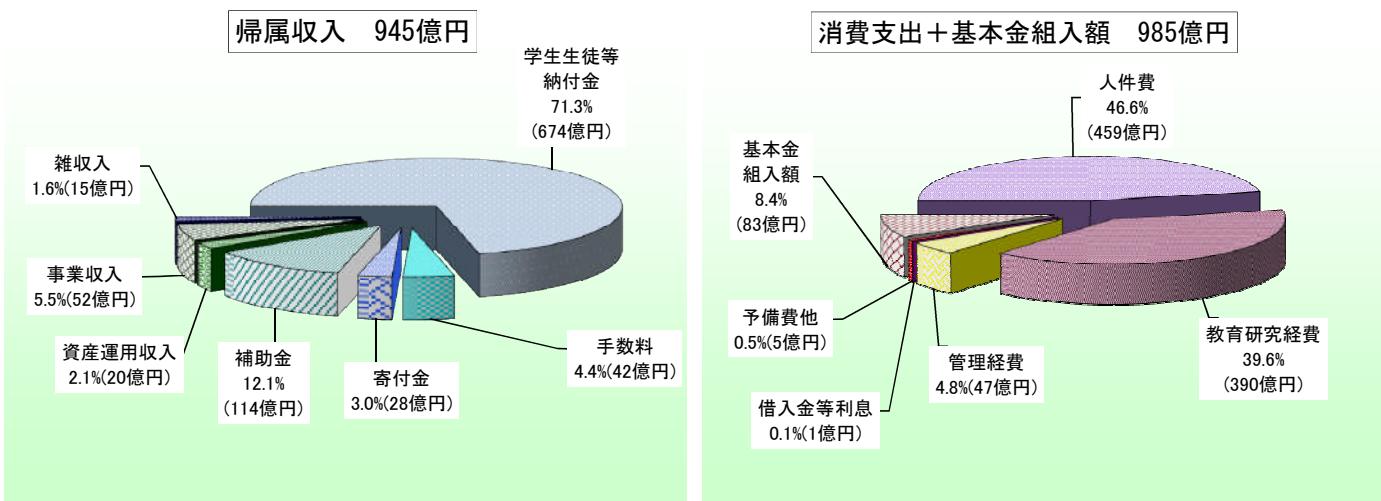
消費収支予算書

2014(平成26)年 4月 1日から
2015(平成27)年 3月31日まで

(単位 百万円)

| 科 目 | 2014年度 予算額 | 2013年度 予算額 | 増減(△) |
|------------------|---------------|---------------|---------|
| <消費収入の部> | | | |
| 学生生徒等納付金 | 67,381 | 66,266 | 1,115 |
| 手数料 | 4,194 | 4,205 | △ 11 |
| 寄付金 | 2,857 | 2,514 | 343 |
| 補助金 | 11,388 | 10,883 | 505 |
| 資産運用収入 | 2,011 | 1,175 | 836 |
| 事業収入 | 5,184 | 4,815 | 369 |
| 雑収入 | 1,495 | 1,405 | 90 |
| 帰属収入合計 | 94,510 | 91,263 | 3,247 |
| 基本金組入額合計 | △ 8,257 | △ 4,655 | △ 3,602 |
| 消費収入の部合計 | 86,253 | 86,608 | △ 355 |
| <消費支出の部> | | | |
| 人件費 | 45,874 | 45,083 | 791 |
| 教育研究経費 | 39,042 | 38,690 | 352 |
| 管理経費 | 4,685 | 4,559 | 126 |
| 借入金等利息 | 63 | 90 | △ 27 |
| 資産処分差額 | 224 | 448 | △ 224 |
| 徴収不能引当金繰入額 | 28 | 39 | △ 11 |
| 予備費 | 300 | 300 | 0 |
| 消費支出の部合計 | 90,216 | 89,209 | 1,007 |
| 当年度消費支出超過額 | 3,963 | 2,601 | |
| 前年度繰越消費支出超過額(見込) | 99,764 | 101,913 | |
| 翌年度繰越消費支出超過額 | 103,727 | 104,514 | |

消費収支の構成比率



【資金収支予算書の概要】

資金収支予算書は、当該会計年度における法人全体の教育研究等諸活動に対応するすべての資金の動き、いわゆる資金繰りの状況を示すものです。

したがって、収入の部には、学生生徒等納付金収入、手数料収入、寄付金収入、補助金収入、事業収入等法人に帰属する収入のほか、建設工事の財源の一部としての借入金等収入、当年度末に受け入れる次年度分学費等の前受金収入、特定預金から引き出して支払いに充当する退職給与引当資産からの繰入収入等が計上されています。

一方、支出の部には、退職金を含む教職員の人事費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、借入金等利息支出等の諸経費のほか、借入金等返済支出、土地・建物等の施設関係支出、機械器具・備品・図書等の設備関係支出等が計上されています。

これらの収入および支出の中には、土地信託事業に伴う収入・支出も含まれています。

なお、学生生徒等納付金収入には前年度末に入金した新入生の入学手続時の納付金が含まれていますが、これは当年度の資金収入ではないので収入の部下段に記載の資金収入調整勘定で控除しています。同様に、支出額には期末に予想される未払分も含まれていますが、当年度の資金支出ではないので資金支出調整勘定で控除しています。

(1) 収入の部(主なもの)

①学生生徒等納付金収入 673億8,081万円(11億1,510万円増)

授業料収入 521億9,889万円(7億3,611万円増)

留学プログラム収入等の増収が見込まれています。

入学金収入 31億9,400万円(5,328万円減)

大学院・学部・高等学院等全体で、14,368名の入学者を見込みました。

施設設備資金収入 99億5,485万円(3億3,294万円増)

教育環境整備費改定の学年進行による増収が主なものです。

②手数料収入 41億9,401万円(1,076万円減)

入学検定料収入 41億2,361万円(1,076万円減)

2014年度中に受け入れる2015年度入学志願者の検定料収入です。

③寄付金収入 23億5,688万円(3億4,321万円増)

特別寄付金収入 23億5,688万円(3億4,321万円増)

サポートーズクラブ寄付金5億円、指定寄付金7億7,500万円等です。

④補助金収入 113億8,811万円(5億480万円増)

国庫補助金収入 107億8,301万円(5億1,411万円増)

経常費補助金 95億5,400万円、施設整備費補助金12億1,946万円等です。

地方公共団体補助金収入 5億9,710万円(931万円減)

高等学院および本庄高等学院に対する補助金が主なもので、東京都経常費補助金4億7,000万円、埼玉県学校運営費補助金1億円を見込んでいます。

⑤資産運用収入 20億1,092万円(8億3,556万円増)

第3号基本金運用収入 4億9,860万円(934万円増)

奨学基金、国際交流基金、研究助成基金等の基金へ組み入れる受取利息等の見込額を計上しています。これらの実収入は、奨学金、外国大学との国際交流経費、特定課題研究助成費等に充当されるものです。

施設設備利用料収入 5億3,270万円(2,310万円増)

土地・家屋等の賃貸料収入および教室・セミナーハウス等の利用料収入です。

⑥事業収入 51億8,404万円(3億6,914万円増)

補助活動収入 4億9,146万円(3億4,454万円増)

国際学生寮WISH、東伏見学生寮、東伏見紺碧寮、市嶋記念千駄木寮、本庄ドミトリーの寮費収入です。

附属事業収入 11億7,640万円(1億4,806万円増)

エクステンションセンターのオープンカレッジ講座料収入、ファイナンス研究センターのビジネス情報アカデミー講座料収入、保健センターの健康保険診療費収入等の見込額です。

受託事業収入 23億4,778万円(1億8,409万円減)

理工学院総合研究所、ナノ理工学研究機構、総合研究機構、グリーンコンピューティングシステム研究機構等の受託研究料等の見込額です。

土地信託賃貸料収入 11億2,722万円(3,011万円増)

土地信託事業の賃料および共益費の収入です。

⑦雑収入 14億9,533万円(8,982万円増)

退職金財団等交付金収入 8億1,788万円(8,693万円増)

私立大学退職金財団等からの2014年度退職者に対する交付金の見込額です。

⑧他の雑収入 6億744万円(211万円減)

早稲田カード・学生カード提携手数料、校友会からの業務受託収入、教材売上代等が主な収入です。

⑨借入金等収入 1億2,521万円(45億8,500万円減)

長期借入金収入 0円(45億円減)

2014年度は、長期借入を行わない予定です。

⑩前受金収入 125億1,156万円(2億165万円減)

主に2014年度末に入金が見込まれる2015年度新入生の学生生徒等納付金です。

⑪他の収入 93億2,577万円(31億1,217万円増)

退職給与引当資産からの繰入収入

9億7,320万円(7,967万円増)

退職金の支払いに充てるため、引当資産から受け入れるものです。

校友会奨学資金引当資産からの繰入収入

3億3,760万円(1億4,535万円増)

校友会奨学金の支払いに充てるため、引当資産から受け入れるものです。

施設整備資金等引当資産からの繰入収入

34億6,424万円(10億9,557万円増)

現キャンパス整備の支払いに充てるため、引当資産から受け入れるものです。

特定目的引当資産からの繰入収入

22億1,368万円(10億6,779万円増)

入学期予約採用給付奨学金、文学部奨学金、人間科学部奨学金、教職員給付奨学金等の支払いなどに充てるため、引当資産から受け入れるものです。

前期末未収入金収入 19億1,122万円(7億326万円増)

2013年度末において未収が予想される学生生徒等納付金および補助金等の2014年度入金見込額です。

長期貸付金回収収入 1億8,232万円(4,986万円増)

主に大学関連会社への貸付金や教職員厚生会貸付金等の回収予定額です。

奨学貸付金回収収入 511万円(349万円減)

奨学金貸与者からの回収予定額です。

⑫資金収入調整勘定 147億1,636万円(5億7,253万円減)

期末未収入金 22億4,924万円(7億2,439万円減)

学生生徒等納付金収入、補助金収入および退職金財団等交付金収入のうち、2014年度末において予想される未収入分です。

前期末前受金 123億7,319万円(1億5,437万円増)

2013年度末に入学手続をする2014年度新入生の学費前受け分です。

前期末土地信託賃貸料前受金 9,393万円(251万円減)

2013年度末に入金される2014年4月分の土地信託賃貸料前受け分です。

(2) 支出の部(主なもの)

- ①人件費支出 **461億2,091万円(4億8,909万円増)**
 教員人件費支出 **319億1,007万円(3億5,432万円増)**
 職員人件費支出 **129億7,951万円(8,567万円増)**
 退職金支出 **9億7,320万円(7,967万円増)**
 定年退職者38名に支払う退職金の見込額です。
 退職附加年金支出 **1億5,936万円(4,081万円減)**
 2014年度選択定年退職者のうち、退職附加年金支給者に対する支給見込額です。
- ②教育研究経費支出 **299億5,370万円(7億4,406万円増)**
 大学院・学部・高等学院・本庄高等学院・芸術学校・川口芸術学校・研究所・図書館・学生部(セミナーハウス・学生寮含む)等、教育研究に携わる部門の諸経費です。
 光熱水費支出 **22億3,212万円(2億9,673万円増)**
 電気料14億5,902万円、水道料3億5,958万円、燃料費2億5,710万円等です。
 委託費支出 **121億7,321万円(10億8,293万円増)**
 主なものは、建物管理・清掃費、警備業務委託費、人事業務委託費等です。
 貸借料支出 **11億4,645万円(1億3,974万円減)**
 主なものは、土地建物賃借料、機械器具賃借料等です。
 奨学費支出 **35億655万円(6億1,244万円減)**
 大隈記念奨学基金、小野梓記念奨学基金および篤志家の寄付により設定された奨学基金等から学生・生徒に給付される奨学金や学生交換協定奨学金等です。
 給付対象人員は、入学試験の成績上位者を対象とした大隈記念特別奨学金95名、大隈記念奨学金160名、小野梓記念奨学金701名のほか、小野梓記念外国人留学生奨学金67名、大学院博士後期課程若手研究者養成奨学金432名、私費外国人留学生授業料減免奨学金351名、校友会奨学金365名、入試前予約採用奨学金712名等を予定しています。
 福利費支出 **6億8,079万円(1,243万円減)**
 主なものは、学生指導費、学生衛生管理費、セミナーハウス管理費等です。
- ③管理経費支出 **38億7,973万円(236万円減)**
 主として法人運営にかかる部門の経費です。
 委託費支出 **11億4,620万円(1億3,425万円増)**
 主なものは、建物管理・清掃費、人事業務委託費、連絡バス運行委託費等です。
 公租公課支出 **1億9,512万円(1,988万円減)**
 納付消費税、固定資産税・都市計画税等の支出です。
 広告費支出 **1億9,856万円(5,304万円増)**
 学生募集等にかかる広告費の支出です。
 土地信託経費支出 **7億1,100万円(1億3,945万円減)**
 土地信託事業の施設にかかる施設管理費、信託管理費、修繕費、公租公課等です。
- ④借入金等利息支出 **6,278万円(2,671万円減)**
 借入金利息支出 **5,719万円(2,533万円減)**
 日本私立学校振興・共済事業団および市中銀行等からの施設整備のための借入金に対する支払利息です。
 学校債利息支出 **328万円(10万円減)**
 土地信託借入金利息支出 **230万円(128万円減)**
 土地信託事業による施設建設のための市中銀行からの借入金に対する支払利息です。
- ⑤借入金等返済支出 **24億3,349万円(13億4,691万円増)**
 借入金返済支出 **9億1,028万円(1億1,891万円増)**
 借入金の返済額であり、日本私立学校振興・共済事業団からの借入金の返済額7億5,228万円、市中銀行からの借入金の返済額1億5,800万円が主なものです。

⑥施設関係支出 **105億6,555万円(41億1,118万円減)**

- 建物支出 **100億4,724万円(41億2,699万円減)**
 主なものは、①早稲田キャンパスD棟(仮称)新築工事②戸山キャンパス再整備工事③高等学院再整備工事④本庄高等学院再整備工事⑤研究開発センター整備工事等です。

D棟(仮称) 完成予想図



構築物支出 **3億9,831万円(1,581万円増)**

- 主なものは、構内外構施設等整備工事、構内給排水ガス熱設備等整備工事、各所運動施設整備工事等です。

⑦設備関係支出 **38億4,791万円(12億7,090万円増)**

- 教育研究用機器備品支出

33億872万円(12億4,962万円増)

- 図書支出 **5億1,978万円(2,206万円増)**

⑧資産運用支出 **23億7,132万円(3,390万円増)**

- 退職附加年金引当資産への繰入支出

1億5,936万円(1億1,159万円減)

- 選択定年退職者への退職附加年金の支給のために引当資産に繰り入れるものです。

- 退職給与引当資産への繰入支出

8億4,900万円(2億3,000万円増)

- 退職給与引当金繰入に伴い、引当資産に繰り入れるものです。

第3号基本金引当資産支出 **891万円(160万円減)**

- 各種奨学基金、国際交流基金、研究助成基金、教職員厚生基金等の運用による受取利息および寄付金等から、各種奨学金、国際交流経費、研究助成経費等の支払額を差し引いた残額を引当資産に繰り入れるものです。

- 特定目的引当資産への繰入支出

8億2,768万円(3億6,628万円減)

- 入学前予約採用給付奨学金、文学部奨学金、人間科学部奨学金、教職員給付奨学金などへの寄付金等のほか、貸与奨学金の回収予定額を引当資産に繰り入れるものです。

⑨その他の支出 **68億8,306万円(10億4,655万円増)**

- 長期貸付金支払支出 **9,515万円(前年度と同額)**

- 教職員に対して貸付ける教職員厚生会貸付金です。

⑩資金支出調整勘定 **67億6,749万円(12億8,039万円減)**

- 期末未払金 **61億9,587万円(10億6,658万円減)**

- 人件費、物件費等のうち、2014年度末において予想される未払分です。

【消費収支予算書の概要】

消費収支予算書は、帰属収入(負債とならない収入)から、校舎の建設費や機械器具・備品・図書等の資本的支出に充当する額および奨学金等の諸基金に充当する額(基本金組入額)を控除して、残りを消費収入として消費支出との均衡の状態、すなわち経営状況を示すものです。

したがって、資金収支予算書の収入から学校法人の帰属収入とならない借入金等収入および資金の動きだけを示す前受金収

入、その他の収入等は除かれます。一方、支出から借入金等返済支出、施設関係支出、設備関係支出等が除かれるとともに、消費支出として退職給与引当金繰入額や減価償却額等が計上されています。

(資金収支予算書で説明したものは省略します)

①現物寄付金 5億円(前年度同額)

科学研究費補助金等で取得した機械器具・物品および法人・個人等から受贈した機械器具・物品等の評価額であり、過年度の実績に基づき、推定したものです。

②基本金組入額は、校地・校舎等の施設関係、機械器具・備品・図書等の設備関係、過去に施設建設のために借り入れた借入金の返済、および奨学基金等に支出するものであり、当年度は**82億5,761万円**となる見込みです。

③教育研究経費・管理経費について、資金収支予算書に計上されている金額より大きくなっているのは、減価償却額が教育研究経費で**90億8,824万円**、管理経費で**5億4,785万円**、土地信託経費で**2億5,727万円**含まれているためです。

④徴収不能引当金繰入額 **2,850万円(1,032万円減)**

2014年度授業料等学費の未収見込額のうち次年度徴収不能額を推定したものです。

【収益事業会計予算の概要】

収益事業会計予算書は、駒沢ガーデンハウスの専有部分(25戸)の賃貸による収益と費用を表わしたものです。

(1) 営業損益

営業収益として、建物賃貸料収入**1億4,805万円**および施設設備利用料収入**861万円**の合計**1億5,667万円**を計上しています。

営業費用として、建物管理委託費、光熱水費、減価償却費および公租公課等を計上し、合計で**1億5,639万円**となっています。その結果、営業利益として**27万円**が見込まれます。

(2) 営業外損益

営業外収益として、預かり敷金等を公社債等で運用した受取利息・配当金**100万円**を計上しています。

(3) 経常損益、当期損益

営業利益に上記の営業外収益を加えた結果、経常利益が**128万円**となり、学校会計繰入金支出**500万円**を控除した当期純利益は**372万円**の損失となる見込みです。

【土地信託関係予算の概要】

土地信託事業にかかる予算については各科目の説明で触れましたが、これをまとめると次のようになります。施設のテナントからの土地信託賃貸料・共益費収入が**11億2,722万円**で、これに対して施設管理費、信託管理費、損害保険料、公租公課等の土地信託経費が**9億6,828万円**、土地信託借入金利息が**230万円**となっています。

土地信託事業による収入を償還財源としていた、大隈会館建設のための借入金は、完済しました。なお、土地信託事業に係る借入金残高は、計画通り着実に減少してきています。

以上

※財務部では以下のホームページに予算決算をはじめ財務情報を開示しています。

<http://www.waseda.jp/zaimu/index-j.html>